

2025年5月28日

## News Release

芙蓉総合リース株式会社  
(コード番号: 8424 東証プライム)  
代表取締役社長 織田 寛明

### DEALWATCH AWARDS 2024 のサステナブル・ファイナンス部門

#### 「Sustainable Finance Issuer of the Year」を受賞

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、2024年9月に発行した第2回ハイブリッド社債（劣後特約付／サステナビリティ・リンク・ボンド）（以下、「本社債」）について、ロンドン証券取引所グループ（東京都港区、日本代表 平山竜）が主催する「DEALWATCH AWARDS 2024」のサステナブル・ファイナンス部門において「Sustainable Finance Issuer of the Year」を受賞いたしました。

### DEALWATCH AWARDS 2024

CELEBRATING THE ACHIEVERS IN JAPAN'S CAPITAL MARKETS

DEALWATCH AWARDS は、日本関連の資本市場の育成・拡大に資することを目的に1995年に設置されました。「本邦市場が世界の主要市場としてさらに発展していく」という観点から、発行市場における適正なプライシング、流通市場に移行した後の価格形成、資本市場の発展への貢献や創意工夫などを考慮し選定されています。

#### 【選定理由】

目標未達の場合には寄付か排出権購入が主流だったサステナビリティ・リンク・ボンドにおいて、役員報酬と連動させるスキームを導入し、日本の同債に革新的な道筋を示した。経営の本気度に投資家も需要を積み上げた。

芙蓉リースは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）を実践するうえで重要な取り組み課題を非財務目標に設定しています。かかる戦略の実現を資金調達面から支えるべく、非財務目標全体を反映した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定し、資金調達を行ってまいりました。

本社債では、同フレームワークに設定した KPIs および SPTs のうち、「脱炭素社会実現への貢献」と「戦略的人材育成」に関連する 2 項目を選定するとともに、「役員報酬の連動」を本社債の債券特性としました。資本と負債の中間的性質を有する本社債において、経営としての取組みへのコミットメントをより明確化したことをご評価いただいたものです。

今回頂戴したご評価をさらに励みとし、引き続きCSVへの取り組みを進めることで、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。



(右から) ロンドン証券取引所グループ日本代表 平山竜氏、DealWatch 編集長 米田浩子氏、芙蓉リース代表取締役副社長 岸田勇輔、芙蓉リースCSV推進室長 水谷高、IFR (インターナショナル・ファイナンシング・レビュー) 編集統括責任者 マシュー・デイヴィス氏

以上

